

令和6年度 地域福祉活動支援事業 ホームページ用報告書

神奈川県社協ホームページに掲載しますので、助成事業の概要を簡潔に記入してください。

※必要事項を記入または☑ 1ページ以内に収まるよう作成

団体名	特定非営利活動法人プラットフォーム		
団体の属性	<input type="checkbox"/> セルフヘルプグループ・当事者等		<input checked="" type="checkbox"/> ボランティアグループ等
	<input type="checkbox"/> 市町村社協やそれを構成員とする実行委員会等		
助成区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般助成	<input type="checkbox"/> 協働モデル助成	協働モデル助成 本会提示テーマ
助成事業名	子どもと若者の図書館「衣笠駅徒歩1分図書館」		
事業の目的	すべての子どもに必要な情報と安心できる場所を提供することを目的とする。		
事業概要	<p>【対象】横須賀市、葉山町、逗子市、三浦市に住む0~25歳の子どもと若者。不登校、障害、貧困、ひとり親、ヤングケアラーなど困り感が身近な子どもも、そうでない子どももすべて等しく対象とし、他人では気付けない・本人も気づいていない困り感がある子ども対象に内包する。また、子育てをしている養育者も受け入れる。</p> <p>【日程】通年にわたり、週3~4日不定期で開館</p> <p>【会場】横須賀市栄町2-66</p> <p>【内容】誰でも自由に過ごせる私設図書館、約3000冊の本を所蔵。地域の子ども・大人・子育て中の親子が本を読んだり、おしゃべりをしたり、親子サロンを開いたり、思い思いに過ごすなど利用。無料の学習サポートを実施。夜間中学を実施しているボランティア団体が定期的に利用をし、不登校の小中学生・母国語が外国語の方への学習サポートを行った。</p>		
成果や課題	<p>開館5年目を迎え、5年前から利用している子どもたちの成長と共に、場の新たな意味づけと思える風景を見ることが出来ている。具体的には、小学生のころから来ている子が、年少の子ども達のために、夏祭りや大掃除大会を企画実施するようになるなど、子ども同士のやさしい関わりの循環が生まれている。また、教育委員会やスクールソーシャルワーカーや療育センターから個別に子どもの利用の相談を受けるなど、地域の人のつながりと、専門機関のつながりと、それぞれが混在する場になってきている。</p> <p>課題としては、これらに等しくフラットに対応できる地域の人材を増やしていくことが望まれる。</p>		
今後の展望	<p>図書館が居場所だけでなく、地域のハブ的機能を担える場になりつつある。加えて、看護師や精神保健福祉士による訪問サポートを行う拠点として、教育機関、医療機関、福祉事業所と意見交換を行い家から出れない子どもへのアウトリーチ、また社会とつながるステップとして図書館を活用するなど、図書館が地域で担える役割の展開にご期待をいただいている。背景に、不登校の増加がある。横須賀は神奈川県で一番多く、精神患者数の割合も他市に比べて多い。子どもの不調は、外から見えずらく、特に不登校になってしまうと家庭以外で発見できる機会が減ってしまう。図書館で共に過ごす中で出会える事象を放置しないために、訪問サポートを活用することで家庭生活を支える仕組みを展開したい。</p>		
活動の様子が分かる画像 2枚程度添付	  		
			